

2009年

5月22日（金曜日） - 節から大きな芽が出る！ -

本日、本市商工会の本年度総会が盛会に開催されました。商工会の皆さんにおかれましては、昨年度は、正にご活動の原点につながる会員の皆さんからの聞き取り活動を改めて徹底されるとともに、連携拠点事業、ものづくりフェア、観光圏事業など新規事業にも積極的に取り組まれ、また、本年度も商品券事業に着手していただいているなど、現下の大変深刻な経済状況の中で沖田会長さんはじめ役員、会員の皆さんが一丸となって各会員の事業の再生、浮揚、本市産業の発展に尽くしておられる誠真実のご努力に、心から敬意を申し上げます。

よく“節から芽が出る”といわれます。木々の成長の中で“節”は成長が滞る時期がありますが、同時に、そこから新しい芽が芽吹く場局でありますし、また、竹などのように節があるから嵐に直面してもしなやかになびくだけで、折れてはしまわない。このように、節は、ものごとが大きく強くしなやかに成長、発展していくうえでなくてはならないものであります。

私たちの社会は、今、この“節の時期”を迎えているのだと思います。それゆえ大切なことは、この節の時期に、将来の新しい発展を芽吹くためのどんな養分を今、節中に蓄えさせられるか、ということ、そのための“根っこの力”、踏ん張って根っこから吸い上げ続ける努力の底力こそが、私たちに問われているのだと思います。

努力の底力といいますときに思うのは、私は、時間軸の鳥の目でみれば、景気はいずれ必ず回復します。そして大切なことは、回復したときにどれだけの高みに達し、どれだけのその後の持続的な発展につなげていけるかは、その間にどれだけの真剣な努力を捧げてきたのかにかかっていると思います。どれだけ深く屈み、どれだけ体力を鍛えたのか、そんな雌伏の力が、その後の雄飛の高さ、力強さにつながってくる。

今こそ、本市商工会の会員の皆さん、広く事業や生業に従事される市民の皆さんとともに将来の繁栄、発展をワクワクと腹蔵しながら、今は踏ん張りに踏ん張ってそんな根っこの努力を真剣に重ね続けていきたい。